

令和 8 年度

北空知地域医療介護確保推進協議会

第 1 回会議 議案

医療や介護が必要になっても
住みなれた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



令和 8 年 7 月 1 3 日

場所：深川市立病院会議室

目 次

1. 北空知地域医療介護確保推進協議会	3～4
2. 北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議	5～12
3. I 医療介護相談・在宅生活支援部会	13～19
4. II 多職種連携・地域啓発部会	20～27
5. I 多職種連携研修・相談支援部会（新部会）	28～29
6. II 在宅生活・情報共有・地域啓発部会（新部会）	30～31
7. 令和7年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 （地域医療・介護連携推進事業）決算 令和7年度地域リハビリテーション活動支援事業 決算	32
8. 令和8年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 （地域医療・介護連携推進事業）予算（案） 令和8年度地域リハビリテーション活動支援事業 予算（案）	33
9. 令和7年度北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧	34～35

令和8年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議議案

北空知地域医療介護確保推進協議会

○設置目的

北空知1市4町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成28年3月18日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体で構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

○協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (1) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (2) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (3) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (4) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (5) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

《令和7年度事業報告》

1. 開催計画

- ・協議会の定期開催は6月（今回は7月）を予定し、その他必要に応じて開催することとした。

2. 開催状況

○第1回会議 令和7年7月11日（金） 深川市役所 3会大会議室

参加者 協議会委員10名

- ・協議・確認事項

- (1) 令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (3) 深川市立病院新改革プラン実施状況に関する点検・評価報告書について
- (4) その他

※協議・確認事項は事務局提案どおり承認・了承され、議事終了後、情報・意見交換を行った。

3. 協議会構成員（令和7年4月～令和8年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田 中 昌 幸	
副会長	深川医師会会長	三木田 光	みきた整形外科クリニック院長
委 員	妹背牛町長	滝 本 昇 司	R7. 8. 25～
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐々木 康 宏	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	斎 藤 泰 一	

	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	小 林 正 樹	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

《令和8年度事業計画》

1. 令和8年度事業計画

- ・協議会の定期開催は6月（又は7月）を予定し、その他必要に応じて開催する。

2. 協議会構成員（令和8年4月～令和9年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	田 中 昌 幸	
副会長	深川医師会会長	三木田 光	みきた整形外科クリニック院長
委 員	妹背牛町長	滝 本 昇 司	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐々木 康 宏	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	竹 内 徳 男	
	深川市立病院長	新 居 利 英	
	深川地区消防組合消防長	宮 内 秀 公	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和8年度～令和9年度）

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (6) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (7) 認知症対策事業の検討
- (8) 医療・福祉・介護人材の確保の検討
- (9) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (10) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (11) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (12) 専門部会の連絡調整

《令和7年度事業報告》

1. 令和7年度事業計画

- ・令和4年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ①在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携
 - ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期3年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
 - ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ②休日・夜間救急医療体制の維持・確保
 - ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
 - ・救急あんしんカードのICT活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ③医療・福祉・介護人材の確保
 - ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
 - ・北海道介護福祉学校との「自治体包括連携協定」について、今後、広域事業として展開できるよう当該協定締結の意義について管内市町に周知していく
- ④新型コロナウイルス感染症等への対応
 - ・新型コロナウイルス感染症及び他の感染症も含めた平時の対応について必要に応じて研修会等を開催する。
- ⑤協議会事業の全体評価
 - ・運営会議において、PDCAサイクルの考え方に基づき、また、令和元年度「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」を踏まえた、協議会設立後第4期目となる3年間（令和5年度～令和7年度）の協議会事業全体の進捗状況を確認し、その成果と課題を整理し、今後の課題への対応策を検討する。
- ⑥協議会運営体制の評価・見直し

- ・上記と併せ、部会の設置期間（令和５年度～７年度）の３年目にあたるため、体制の見直しと部会長等の役員、構成員の再編等について検討する。

2. 関係会議等開催状況

○第１回正副座長・部会長等会議（Web）

令和７年４月２８日（月）～５月１日（木）きたそらりんく利用会議

５月 １日（木）１１：００～Zoom利用会議

出席者１２名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等）

- ・人事異動等により役員等が交代したため、今年度の事業を始動させるにあたり、令和６年度事業報告・令和７年度事業計画（案）等についての内容等を確認し令和７年度の各会議体の構成、事業の年間スケジュールの調整、運営会議の重点協議事項について協議した。
- ・協議会本体会議の議案構成、開催方法などを協議し、本年度はPDCAサイクルによる事業評価の年となるため今後課題を各自認識し本年度の事業参画することを確認した。

○第１回運営会議（Web）

令和７年６月 ２日（月）～６月 ５日（木）きたそらりんく利用会議

６月 ５日（木）９：３０～１０：１６ Zoom利用会議

～１１：１０（北海道介護福祉学校情報提供）

出席者 運営会議委員２４名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

・協議・確認事項

（１）北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について

- ・令和６年度事業報告・決算、令和７年度事業計画（案）・予算（案）、事業報告説明資料

（２）休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について

（３）北空知地域医療介護確保推進協議会の開催について

（４）その他

会議終了後、栗山町立北海道介護福祉学校 悪七尚広校長から北海道介護福祉学校と市町村との包括連携協定に関する情報提供をいただいた。

○第２回運営会議（Web）

令和７年１０月２７日（月）～１０月２９日（水）きたそらりんく利用会議

１０月２９日（水）１０：００～１０：２２ Zoom利用会議

出席者 運営会議委員１９名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

・協議・確認事項

（１）在宅医療・介護連携事業の進捗状況確認、成果と課題について

- ・在宅医療・介護連携推進事業の基本の取り組み内容である８事業及び４事業（独自事業等）について、３年間の進捗状況の確認、今後の方針や施策の見直しについて協議することを確認。
- ・今年度取り組むべき内容、長期的に取り組む課題、新たな課題の設定、評価指標の設定等について検討した。

（２）今後の事業評価の進め方について

- ・事業評価と運営体制の見直しについて、今後それぞれ必要な会議を開催し協議していくこととした。

○第１回地域医療・介護連携推進事業担当課長会議

令和７年１０月２７日（月）～１０月２９日（水）１０：２９～１０：４４ Zoom利用会議

出席者８名（１市４町担当課長等）

・協議・確認事項

（１）令和８年度北空知地域医療・介護連携支援センター事業委託料（案）について

（２）令和８年度北空知地域リハビリテーション事業委託料（案）について

(3) その他 ※各市町の次年度予算に要求する協議会事業の委託料(案)を協議し議案のとおり了承を得た。
○第3回運営会議 (Web) 令和8年 1月26日(月)～28日(水) きたそらりんく利用会議 1月28日(水) 10:30～11:30 Zoom利用会議 出席者24名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長) ・協議・確認事項 (1) R5～R7の事業評価・検証、R8～R10実施体制について ・各専門部会での協議を踏まえて評価案を作成しR8 協議会本体会議へ提案することとした。 ・深川市と素案を協議の上、部会長選定会議(医療介護担当課長会議委員を兼ねている4町担当課長及び専門部会長)で検討し、3月に開催予定の第4回運営会議に諮り本体協議会で決定。 (2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について ・各専門部会・小部会、運営会議における今年度の取り組みの総括と次年度計画案について協議。 ・評価を踏まえ、次期体制で具体的な対応策を協議するため、計画については大枠の方針に留め、個別具体的な取り組みは今後専門部会で協議していくこととした。 (3) 次年度スケジュールについて ・例年3回目の運営会議で終了していたが、今回は3月末に第4回運営会議を開催し、未協議部分を確認したい。
○部会長等選定会議 令和8年 2月19日(木) 13:00～13:46 Zoom利用会議 出席者10名(深川市高齢者支援課長、北竜町役場住民課長、沼田町役場保健福祉課長、秩父別町役場住民課長、妹背牛町住民課長・健康福祉課長、村田事務局長他) ・協議・確認事項 (1) 専門部会役員、運営会議事務局、構成員の編成案について ・人材不足と重複業務を解決するため、2つの親部会を廃止し、現在の4小部会を2つの部会として統合する案については各市町概ね了承 (2) 運営会議事務局の編成案について ・市長部局事務局を深川市から4町で持ち回りする提案については各自で持ち帰り検討し、現地開催にて再度協議することとした
○第2回部会長等選定会議 令和8年 3月12日(木) 10:00～11:13 深川市立病院小会議室 出席者8名(深川市高齢者支援課長、北竜町役場住民課長、沼田町役場保健福祉課長、秩父別町役場住民課長、妹背牛町住民課長、村田事務局長他) ・協議・確認事項 (1) 専門部会再編について ・人材不足と重複業務を解決するため、現在の4つの小部会を2つに統合する案により各事業所へ選出依頼し、状況に応じて協議の上対応する (2) 運営会議事務局の編成案について ・事務局を地域中核病院が担う事で多職種連携をすすめられる意義がある ・継続的に実施できる体制を検討するため今後1年程度かけて協議する ・通常の事業は必要なものを可能な範囲で年1～2事業程度実施する
○第4回運営会議 (Web) 令和8年 3月25日(水)～26日(木) きたそらりんく利用会議 3月26日(木) 11:00～11:41 Zoom利用会議 出席者20名(運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長) ・協議・確認事項 (1) R5～R7の事業評価・検証、R8～R10実施体制について

- ・各専門部会での協議を踏まえて評価案を作成し R8 協議会本体会議へ提案
- (2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について
- ・各専門部会・小部会、運営会議における今年度の取り組みの総括と次年度計画案について協議。
- (3) 次年度スケジュールについて
- ・各会議体委員に人事異動等による変更がある場合の連絡を依頼。
 - ・次年度の協議開始時期及び、令和 5 年度の本体協議会及び運営会議の日程について協議。

3. 事業の進捗状況

①在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携

- ・在宅医療・介護連携における施策課題を運営会議で整理し、次年度又は次期 3 年間で、将来に向けた事業・施策のあり方を検討していく。施策については、市町課長会議で検討する。
 - ・上記の検討をする中で、運営会議にはかる内容、課長会議、専門部会で協議する内容を整理。
- ⇒ 在宅医療・介護連携事業そのものの検討は具体的にできていないが、R8 事務局体制を見直す協議の中で市町関係課長会議を中心に、今後施策課題の検討を行うこととした。

②休日・夜間救急医療体制の維持・確保

- ・開業医の高齢化や市立病院の厳しい医師確保から、対策を継続的・長期的に検討する。
 - ・救急あんしんカードの ICT 活用は、データ更新に課題があり、配布主体である市町と協議が必要。
- ⇒ ICT 活用に関しては、きたそらりんく（㈱帝人ファーマ：製品名バイタルリンク）を市町とともに管理者として運用し、患者・利用者の情報交換ツールとして利用している。
- 介護事業所データと患者カルテデータの双方向情報共有ツールの開発業者（㈱コア）からプレゼンテーションを受け、新システムへの移行も視野に入れ開発協力を行うこととしていたが、システム開発の趨勢が変わったためか業者からの連絡が途絶えている状況であり、きたそらりんくの利用継続を基本とする。

③医療・福祉・介護人材の確保

- ・具体的な人材確保については、今後もあらゆる面から継続的・長期的に検討していく
 - ・人材確保に対する実行性のある具体的な対策は難しい面があるが、外国人雇用している事業所での就業状況の発信や、将来の担い手を育てるため児童・生徒等に向けた取り組みを検討する
- ⇒ 北海道介護福祉学校と自治体が締結する「自治体包括連携協定」の意義周知と、締結後の人材確保につながる事業実施について検討することとしていたが具体的な協議にはならなかった。

④新型コロナウイルス感染症等への対応

- ・新型コロナウイルス感染症及び他の感染症も含めた平時の対応について必要に応じて研修会等を開催する。
- ⇒ 今年度は研修会の開催は無かった。

⑤協議会事業の全体評価

- ・運営会議において、PDCA サイクルの考え方にに基づき、また、令和元年度「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」を踏まえた、協議会設立後第 4 期目となる 3 年間（令和 5 年度～令和 7 年度）の協議会事業全体の進捗状況を確認し、その成果と課題を整理し、今後の課題への対応策を検討する。
- ⇒ 上記により運営会議委員、専門部会委員へ意見を募り今後の課題などについて令和 7 年度「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」としてまとめた。

⑥協議会運営体制の評価・見直し

- ・上記と併せ、部会の設置期間（令和 5 年度～7 年度）の 3 年目にあたるため、体制の見直しと部長等の役員、構成員の再編等について検討する。
- ⇒ 専門部会については、人材不足と重複業務を解決するため、現在の 4 つの小部会を 2 つに統合する案を市町関係課長会議で協議した。
- 継続的に協議会事業を実施できる事務局体制を検討するため今後 1 年程度かけて協議することとした。通常の事業は効果的・効率的な運営により内容を取捨選択し実施することとした

4. 運営会議構成員（令和7年4月～令和8年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	北 垣 千 絵	
副座長	深川保健所次長	平 井 直 子	
委 員	深川医師会事務長	吉 田 博 昭	
	深川市立病院事務部長	宮 崎 雅 晴	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署救急課長	清 水 計 行	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町こども・くらし応援課長	續 木 敬 子	
	沼田町保健福祉課長	荒 川 幸 太	
	深川市健康・子ども課長	安 井 仁	

※1 の団体の代表の委員は2年任期（令和6年度～令和7年度）

《運営事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	立 花 洋 子	副センター長
	深川市立病院管理課長兼地域連携室主幹	村 田 真 紀	事務局長
	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課課長補佐	小鍛冶 真由美	※1
	深川市高齢者支援課相談サービス係長	鎌 塚 聡 子	※1
	深川市健康・子ども課課長補佐	関 根 美 樹	※1

※1 の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和5年度～令和7年度）

《令和7年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制》

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	宮 崎 雅 晴	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
事務局長	深川市立病院管理課長 兼地域連携室主幹	村 田 真 紀	運営会議及び専門部会の運営調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室主幹	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業 実施及び進行調整
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	前 川 凡 子	医療介護相談・在宅生活支援部会

	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	廣瀬 詩 織	医療介護相談・在宅生活支援部会

《令和8年度事業計画》

1. 令和8年度事業計画

- ・令和7年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ・在宅医療・介護連携推進旧8事業は、「地域で連携を進めるための手段（インフラ・機能）」であり、「4つの場面」は「住民が実際に直面する療養プロセスの時系列」。
- ・在宅医療介護連携推進事業の手引き ver 3において、「8項目をこなすこと」が目的ではなく、「4つの場面（入退院、日常、急変、看取り）で実際に住民が困らないようにするために、8つの手段をどう組み合わせるか」という思考への転換を求められているので、これを踏襲している手引き ver 4を踏まえ各事業を分担する。
- ・プロジェクトチームは、特定事項を担当する専門部会等として臨時に設置する場合がある。

8つの事業項目	4つの場面				旧担当
	入退院支援	日常の療養支援	急変時の対応	看取り	
①現状分析・課題抽出・施策立案					
(1) 地域の医療・介護の資源の把握	病院・老健等の機能把握	在宅医・訪問看護の把握	夜間・休日対応可否	看取り対応機関の可視化	Ⅱ部会
(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	退院困難事例の分析	連携エラーの検証	救急搬送の適切性の検討	ACPの実施状況把握	運営会議
(3) 切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	入退院調整ルールの運用	多職種チームの形成	救急隊との情報連携	在宅看取りのバックアップ	運営会議、Ⅰ部会
②対応策の実施					
(4) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	病院相談員との連携	ケアマネへの助言	夜間等の助言体制	家族のグリーフケア支援	Ⅰ部会
(5) 地域住民への普及啓発	在宅復帰の可能性周知	サービスの利用方法	—	人生会議（ACP）の普及	Ⅱ部会
(6) -1 医療・介護関係者の情報共有の支援	医療介護データ連携	リアルタイムの情報共有	緊急時連絡先の共有	ACP（意向）の共有	Ⅰ部会
(6) -2 医療・介護関係者の研修	病院・地域の合同研修	専門職のスキルアップ	救急・トリアージ研修	人生会議の実践研修	Ⅱ部会
市区町村連携	広域病院とのルール統一	圏域を越えた資源共有	広域救急体制の調整	広域での看取り支援	
③対応策の評価改善					運営会議
④地域リハビリテーション活動支援事業					Ⅱ部会
⑤認知症初期集中支援事業					Ⅰ部会
⑥休日・夜間救急医療体制の維持・確保					運営会議、Ⅰ部会
⑦医療・福祉・介護人材の確保					運営会議

2. 運営会議構成員（令和8年4月～令和9年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	北 垣 千 絵	
副座長	深川保健所次長	田 中 要	
委 員	深川医師会事務長	吉 田 博 昭	
	深川市立病院事務部長	宮 崎 雅 晴	
	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	※1 揺籃会法人本部
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆ み	※1 アニスティ深川
	深川地区消防組合深川消防署救急課長	清 水 計 行	
	妹背牛町住民課長	石 井 昌 宏	
	妹背牛町健康福祉課長	愛 山 智 弘	
	秩父別町住民課長	塩 地 勇 夫	
	北竜町こども・くらし応援課長	續 木 敬 子	
	沼田町保健福祉課長	荒 川 幸 太	
	深川市健康・子ども課長	安 井 仁	

※1 の団体の代表の委員は2年任期（令和8年度～令和9年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	副センター長
	深川市立病院管理課長	村 田 真 紀	副センター長
	深川市立病院地域連携室副室長	尾 中 康 晴	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	山 口 千恵美	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課課長補佐	小鍛冶 真由美	※1
	深川市健康・子ども課課長補佐	関 根 美 樹	※1
	深川市高齢者支援課相談サービス係長	鎌 塚 聡 子	※1

※1 の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和8年度～令和10年度）

《令和8年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制》

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	宮 崎 雅 晴	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	運営会議 在宅生活・情報共有・地域啓発部会
	深川市立病院管理課長	村 田 真 紀	運営会議
事務局長	深川市立病院地域連携室副室長	尾 中 康 晴	運営会議及び専門部会の運営調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室主幹	赤 松 充 敏	在宅生活・情報共有・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業 実施及び進行調整
事務局員	深川市立病院地域連携室 地域連携係長	山 口 千恵美	多職種連携研修・相談支援部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	前 川 凡 子	在宅生活・情報共有・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	多職種連携研修・相談支援部会

	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	廣瀬 詩 織	多職種連携研修・相談支援部会
--	------------------------	--------	----------------

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
6月 8日	第1回運営会議	令和8年度協議会議案の協議 協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議ほか
6月22日	正副座長・部会長等 会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和8年度事業計画の協議・ 調整（事業の実施時期調整）
7月13日	第1回協議会	令和7年度事業報告・決算報告、 令和8年度事業計画（案）・予算（案）の協議ほか
月 日	第2回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第3回運営会議	協議会事業の進捗状況の確認、成果と課題の協議 協議会体制の検討・協議
月 日	第4回運営会議	重点課題の協議ほか 令和8年度事業のまとめと令和9年度の取組の協議

※必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療介護相談・在宅生活支援部会

○医療介護相談・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

- 急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討
- 在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営
- ②医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付・対応
(地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。)
- ③退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

＜令和7年度事業報告＞

1. 令和7年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネーター業務の充実
- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席(共通課題の抽出)
- ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
- ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 関係会議等開催状況

○これまでの経過(感染対策、利便性)から専門部会・小部会は、基本的にオンライン開催とし、協議内容や感染対策状況に応じて集合形式も検討し開催。

○第1回部会

令和7年 5月27日(火)～6月3日(火) きたそらりんく利用会議

6月 3日(木) 17:30～ Zoom利用会議

出席者25名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

- (1) 令和6年度事業報告(進捗状況)の確認について
- (2) 令和7年度の事業計画及び年間スケジュールについて

(3) 小部会・会議の構成(案)について

(4) 今後の予定

※部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会 (Web)

令和8年 2月17日(火) 17:30~17:50 Zoom利用会議

出席者18名(部会委員、事務局員)

・協議・確認事項

(1) 令和7年度事業の振り返り・評価について

・各小部会から本年度の取り組み(研修会)について開催状況の報告があった。

(2) 令和8年度の事業計画及び年間スケジュールについて

・次年度の協議会運営方針確定後検討し、今年度のような研修会を必要時企画することとした。

○第1回医療介護相談支援小部会 (Web)

令和7年 5月27日(火)~6月3日(火) きたそらりんく利用会議

6月 3日(火) 親部会終了後 Zoom利用会議

出席者11名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 今年度の研修会の内容について

・今年度はACPをテーマに、入退院支援研修会と北空知看護研修会と一緒にすることが決まっている。前年度の研修会では、ケアマネの参加が少なかった。今年度のテーマも多職種が関連するため、より多くの多職種にACPの普及啓発ができるよう、周知方法について検討必要。

・保健所が主催している北空知看護連携推進事業の中での研修を位置づけ、他団体と被らないよう、研修日時は9月中旬~下旬、10月中旬~下旬、研修方法はハイブリッドでも行うが顔の見える関係性の構築のため原則対面とする

などを協議した。

(2) 今後のスケジュール

・今後の年間スケジュールと、小部会の開催方法や時間は、委員意見を踏まえ実施することを協議した。

○第1回在宅生活支援小部会 (Web)

令和7年 5月27日(火)~6月3日(火) きたそらりんく利用会議

6月 3日(木) 17:30~ Zoom利用会議

出席者10名(小部会メンバー)

・協議・確認事項

(1) 令和7年度の活動について

・当小部会の研修会について、情報共有・地域啓発小部会の企画する住民フォーラムと一緒にできないか協議した。すべて一緒にするのか、住民フォーラム終了後に多職種で検討会をする、など在宅生活小部会での目的や方法は独自で考えることになる

・きたそらりんく運用とお薬手帳、救急あんしんカードケースへのDNAR指示書同梱などが継続課題となっている

・お薬手帳カバーを薬剤師会で配布後の評価としてケアマネージャーにアンケートを取りたい

・救急あんしんカードのICT活用は未実施、救急あんしんカードの指示書・同意書についても、深川市立病院看護部預かりとなっているが、深川市立病院だけでは決め兼ねるため、保留となっている

○第1回在宅生活支援小部会事前打合せ

令和7年 6月10日(火) 15:00~16:00

出席者5名（小部会長、副小部会長、事務局員）

・協議・確認事項

（1）令和7年度の活動について

- ・お薬手帳カバー配布後のケアマネに対するアンケートは、薬剤師会がアンケートを作成し、小部会でアンケート配布の協力はどうか
- ・救急安心カードは、マイナンバーカード（マイナ救急）開始後どのように扱っていくか。またICT活用については、きたそらりんくを利用して住民登録する案もあるが令和5年度見積で700万円であり、情報更新についても課題がある。いずれにしても市町村での協議が必要（投げかけてはいるが回答など無い状況）。
- ・今年度は研修会を中心的取り組みとし、それ以外は継続的取り組みとして必要時検討としてはどうか。
- ・研修会は住民フォーラムとの合同開催は妹背牛町での取り組みでもあることなどから協働にならないこととなった。実施時期は11月下旬から12月初め頃で開催方法は集合形式でどうか。内容は講演＋グループワーク、もしくはグループワークのみなどを協議した。

○第2回在宅生活支援小部会（Web）

令和7年 6月26日（木）～6月30日（月）きたそらりんく利用会議

6月30日（月）17:30～ Zoom利用会議

出席者11名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）認知症研修会の開催内容について

- ・開催日時：12月12日（金）予定
 - ・開催目的：「認知症ケアに関わる取り組みについて医師や専門職から学び、認知症ケアに関わる関係者が日ごろの困難事例への対応について広く情報共有し検討する機会とする」
 - ・開催方法：集合形式
 - ・実施内容：「高齢者の免許返納について」警察の交通安全課または、生活安全課より講義を聞き、その後、グループワークを行う（困難事例・成功事例など）
- などを協議した。

○第3回在宅生活支援小部会（Web）

令和7年 7月22日（火）～7月28日（月）12時まで きたそらりんく利用会議

7月29日（火）17:30～ Zoom利用会議

出席者11名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）認知症研修会の開催内容について

- ・具体的なタイムスケジュール、役割分担について協議
- ・グループワークは全員が意見交換できるよう事前に事例を集めるか当日持ち寄るか検討
- ・アンケートを実施する
- ・今後の打合せや決定事項の流れを確認
- ・お薬手帳カバーアンケート配布について8月のケアマネ連協役員で説明し実施していく。アンケート予定の内容を説明

○第4回在宅生活支援小部会（Web）

令和7年10月16日（木）17:30～ Zoom利用会議

出席者12名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）12月12日認知症研修会について

- ・具体的なタイムスケジュールと実施内容について再度協議
 - ・講師への依頼内容は「高齢運転者の一般特性、交通事故の概要や件数、高齢者の運転免許更新の外相や免許返納制度について」とし講師（旭川方面深川警察署交通課長上村健太郎氏）の当日の対応内容を報告
 - ・案内内容を修正し11/14までの申込期限として発送する
 - ・グループワークは事例を当日持ち寄ることとする
- などを協議した。

○第2回在宅生活支援小部会事前打合せ

令和7年11月25日（火）17:00～16:10

出席者5名（小部会長、副小部会長、事務局員）

・協議・確認事項

（1）12月12日認知症研修会について

- ・申込者数39名（内委員9名）→申込数少なく分析必要。金曜夜が問題か
 - ・当日の進行詳細や準備用品を協議・確認
 - ・配布資料などを確認
 - ・グループワーク（7グループ各5～6人）
 - ・アンケートはタブレットを会場に配置し回答率を上げる
 - ・救急安心カードの協議について
マイナ保険証となり、救急安心カードは紙で運用を継続とするか。活用目的や運用方法について協議必要か。また一度救急搬送で使用すると病院から戻ってこないとの声が聞かれている
- などを協議した。

○第5回在宅生活支援小部会

令和8年 2月10日（火）17:30～ Zoom利用会議

出席者11名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

（1）本年度事業の実績と評価

- ・事前配布資料により本年度の取り組みについて確認を行った。

（2）認知症研修会について評価

（3）情報共有ツール（お手帳カバー、救急あんしんカードのICT活用）について評価

（4）今年度活動を振り返り次年度活動にむけて

（5）今後のスケジュール

などを協議した。

○北空知地域 ACP（人生会議）研修会開催

令和7年10月28日（火）18:00～19:30

出席者64名（看護師30名、保健師11名、理学療法士1名、介護支援専門員7名、介護福祉士4名、社会福祉士3名、事務職1名、生活相談員2名、看護教員5名）

・研修内容

（1）講演・演習「地域でACPについて考える」

講師：社会医療法人恵和会 西岡病院 内科部長 澤田 格 様
事務長 岡村 紀宏 様

西岡病院で活用されている「とよひら・りんく」の紹介があり、豊平区西岡・福住地区の医師、歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士等の多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指し、政策立案や均てん化などに資することを目的に設立。年4回の合同会議を定期開催し「人生の最終段階の意思決定支援」、「感染症」など、在宅医療に関する話題を学ぶ研修会を実施しているとの話があった。

ACPの実践としては、西岡病院の事例を通してACPサイクル（①話す②残す③伝える④見直

す)やACPに必要な基本コミュニケーション技術(反復・沈黙)について学んだ。

(2) グループワーク

① どのタイミングでの意思確認が必要か。

② どのようにしたら北空知地域で普及ができるか 等

行政、病院、施設、介護事業所、看護学院、保健所などそれぞれの立場・職種から9グループに分かれグループワークを行った。

(3) グループワーク結果の意見交換・質疑応答

※参加者は講演内容やグループワークを通じて、ACPについての理解を深めたことが伺えた。意思決定は変わるということ、「本人」の意思を尊重し家族のみの意見が反映されるものではないことが重要であることを再認識したなどの回答があり、研修の効果が高かったと思われる。

○認知症研修会開催

令和7年12月12日(金) 17:30~19:00

出席者40名(薬剤師1名、看護師14名(内 認知症認定看護師1名)、保健師9名、介護支援専門員6名、ヘルパー2名、社会福祉士1名、MSWI名、行政職3名、リハ職3名)

・研修内容

(1) 講演「認知症研修会～高齢者の運転免許について～」

講師 旭川方面深川警察署 交通課長 上村 健太郎氏(約20分)

(2) 質疑応答(10分)

(3) グループワーク(高齢者の運転について意見交換会)(約40分)

・高齢者の免許返納の成功体験・困難事例の意見交換(今後の課題、検討事項)

(4) 全体共有(10分)

(5) 閉会・アンケート記入

※警察関係者からの講演を受けたことがなかったため、具体的な内容を聞く機会となり、対応の流れのイメージができ、実践に即した内容でよかった。

グループワークは、身近な話題であるため事例だけではなく、身近な家族の問題等も織り交ぜながら各グループで活発な意見交換ができたことや、医療従事者間で運転について情報共有する機会がこれまでなかったの有意義であった。また少人数で話しやすく、話もまとまりやすい

などの評価となった。

3. 事業の進捗状況

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)

(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)

⇒ 昨年度に引き続き北空知看護研修会と合同でハイブリッド開催とした北空知入退院支援研修会

は、社会医療法人恵和会西岡病院 内科部長や事務長からの実践報告や、ACPの実践としてACPサイクルやACPに必要な基本コミュニケーション技術について学び、グループワークで意見交換や研修内容の理解を深めた。合計64名の参加があった。

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(認知症初期集中支援事業の支援の流れや他職種連携の見直し、広域的なスキルアップの取り組み)

⇒ 今年度は高齢者の運転免許について、旭川方面深川警察署交通課長を講師に招き、具体的な制度内容を聞くことができ、その後のグループワークでは事例だけではなく、身近な家族の問題等も織り交ぜながら各グループで活発な意見交換ができた。また、医療従事者間で運転について情報共有する機会となった。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進・活用状況の把握と改善

⇒ 令和2年から運用を開始した「きたそらりんく」の利用登録促進と、患者・サービス利用者に対する多職種支援、情報共有や会議など多様な利活用に継続して取り組んだ。

令和4年度に具体的な運用ルールを定め、一定期間運用後、検証をすることとしているが、システム利用が一部関係事業所等にとどまっていることから、今後は新システムとの入れ替えも含めた検討を並行していくこととしていたが、新システム開発業者からの連絡が無い状態。

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

- ⇒ 市立病院地域連携室内に、下記「令和7年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおり組織を設置し運営にあたった。
- ⇒ ホームページ、きたそらりんく、パンフレットなどで周知するとともに、各市町の地域包括支援センター、各事業所等を通じて周知に努めた。

②相談コーディネート業務の充実

- ⇒ 北空知地域内外の各種研修会や会議にオンライン参加や現地参加するなどし、関係者との連携を図り相談業務充実に努めた。

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（共通課題の抽出）

- ⇒ 地域ケア会議は、深川市（月2回）、妹背牛町（月1回）、秩父別町（2か月に1回）、北竜町（月1回）、沼田町（不定期）に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努め、また共通課題の抽出の情報収集に努めた。

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

- ⇒ 入退院支援業務や相談業務を通じて関係者との連携・調整に努めた。

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

- ⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行う体制はあるが依頼は無かった。
- ・令和7年度の実施件数0件

平成29年度5件（深川市4件、北竜町1件）、うち市立病院看護師派遣1件（北竜町）
 平成30年度4件（深川市）、令和元年度2件（深川市）、令和2年度2件（深川市）
 令和3年度2件（深川市）、令和4年度1件（深川市）、令和5年度0件、令和6年度0件（相談対応2件（深川市）、令和7年度0件

4. 部会構成員（令和7年4月～令和8年3月）23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	沼田町保健福祉課主幹	高 橋 直 幸	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	黒 瀧 仁 司	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課相談サービス係長	鎌 塚 聡 子	医療介護相談支援小部会
	深川市健康・子ども課課長補佐	関 根 美 樹	在宅生活支援小部会
委 員	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	深川医師会	(欠 員)	
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	工 藤 恵 子	訪問看護ステーション みんソラ
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	団体内持ち回り	
	深川地区消防組合深川消防署救急課救急救助係長	後 藤 康 之	
	深川保健所企画総務課主査（保健推進）	六 田 一 典	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	石 橋 知 華	デイサービスみんカフェ
	妹背牛町健康福祉課主査	渡 邊 みゆき	
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅りぶれ
	秩父別町住民課介護相談係長	池 田 有里恵	
	秩父別町住民課健康推進係	松 原 舞 姫	
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	倉 谷 亮 子	北竜町永楽園
	北竜町こども・くらし応援課高齢者支援係長	内 田 奈保子	

	沼田町保健福祉課主査	望 月 み さ	
事務局員	深川市立病院地域連携室副室長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	前 川 凡 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	廣 瀬 詩 織	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

高橋（小部会長）、鎌塚（副小部会長）、中神、工藤、高橋都、六田、石橋、渡邊、池田、倉谷、
藤原、廣瀬（12名）

【在宅生活支援小部会】

黒瀧（小部会長）、関根（副小部会長）、工藤、望月、後藤、山崎、松原、内田、ケアマネ連協、
前川、佐藤（11名）

Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握と情報提供

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

《令和7年度事業報告》

1. 令和7年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
(ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討)
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
(参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討)
(意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討)
(連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する)
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実(派遣場所・職種拡大)
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
 - ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 関係会議等開催状況

○これまでの経過（感染対策、利便性）から専門部会・小部会は、基本的にオンライン開催とし、協議内容や感染対策状況に応じて集合形式も検討し開催。

○第1回部会（Web）

令和7年 5月26日（月）～6月2日（月）きたそらりんく利用会議

6月 2日（月）17:00～ Zoom利用会議

出席者16名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）令和6年度事業報告（進捗状況）の確認について
- （2）令和7年度の事業計画及び年間スケジュールについて
- （3）小部会・会議の構成（案）について
- （4）今後の予定

※今年度の部会メンバーを確認し、協議・確認事項を協議。部会終了後、各小部会に分かれ第1回会議を開催した。

○第2回部会（Web）

令和8年 3月 9日（月）～16日（月）きたそらりんく利用会議

16日（月）17:00～17:15 Zoom利用会議

出席者12名（部会委員、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）令和7年度事業の確認について
 - （2）令和8年度の事業計画及び年間スケジュールについて
 - （3）R5～R7の事業評価・検証、R8～R10実施体制について
- などについて協議した

○第1回多職種連携研修小部会（Web）

令和7年 5月27日（火）～6月2日（月）きたそらりんく利用会議

6月 2日（月）部会終了後～17:53～18:40 Zoom利用会議

出席6名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）本年度の取り組みについて
今年度も北空知看護研修会と合同で研修会を開催する。テーマは「自己決定支援・ACP」。
・開催時期は、9月中旬（9/17・18・25）もしくは、10月中～下旬頃。
・場所は、深川市経済センター多目的ホール。原則、会場参加を予定。
・グループワークも行う研修会であるので、同テーマでのケアカフェは開催しない。
- （2）R6度事業の実績及びR7年度計画
・内容は前段に開催した親部会と同様
- （3）今後の予定について
・小部会の開催時間は前年同様17時開催若しくは業務時間内とすることとした

○第2回多職種連携研修小部会（Web）

令和7年 8月25日（月）～8月29日（金）きたそらりんく利用会議

8月29日（金） Zoom利用会議 17:00～17:57

出席者6名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 北空知看護研修会・多職種連携研修会について

- ・北空知看護研修会との合同研修会「地域で考える ACP（案）」の役割分担を協議・確認
9月中旬までに講師と打合せを行い、研修会申し込み締め切りは、10/7 予定とした。
- ・ケア・カフェについては、合同研修会で多職種でのグループワークを行うため、多職種連携の強化に向けた活動が出来ることと、他部会の研修会が11月以降も続くこと、冬期の開催では参加者が集まりにくいことから、今年度の開催は見送ることとした。
- ・次回小部会は10/28 合同研修会終了後、11月以降の予定。
などを協議した

○第3回多職種連携研修小部会（Web）

令和8年 2月 3日（火）～10日（火）きたそらりんく利用会議

10日（火）15:00～15:40 Zoom利用会議

出席者7名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 北空知看護研修会・多職種連携研修会の振り返り・評価について

前に各委員が行った評価をもとに事務局から説明し、評価・達成度について各委員が意見交換し、小部会としての企画・プロセス・結果の評価を行った。

(2) 次年度以降の研修会の内容についてその他

- ・次年度以降も集合形式の研修会が良い。
- ・ACP についての研修は、継続して取り組んでいくべき。実践的な取り組み方法が課題。
などを協議した。

○第1回情報共有・地域啓発小部会（Web）

令和7年 5月27日（火）～6月2日（月）きたそらりんく利用会議

6月 2日（月）部会終了後～ Zoom利用会議

出席者7名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 地域住民向けの研修会等メニューについて

(2) 住民フォーラムの検討状況について

- ・今年度は妹背牛町での開催。末岡小部会長より、「北海道認知症の人を支える家族の会」の方を招いた住民フォーラムの開催についての提案があり、意見交換を行う。内容については、高齢化率の高い北空知に即した内容であり、住民フォーラムに適した内容と意見がある。
- ・8月27日（水）の開催に関しては、平日の午後からの開催であることから、小部会メンバーの協力が可能かどうか討議する。各メンバーからは、事前に日時が決まっていれば対応可能であると確認がとれる。2名のメンバーからは、妹背牛町といえば劇団のイメージがあり、今回演劇を観られないさみしさもあるとの意見が出た。平日開催でどの位の集客がみられるか課題もあるが、提案された方向となる。今後のスケジュールについては、末岡小部会長の返事を待ち、改めて会議の日程調整を行うことになった。

(3) R6度事業の実績及びR7年度計画

- ・内容は前段に開催した親部会と同様

(4) 今後のスケジュール

- ・会議開催時間について、出席者全員から平日勤務時間内の開催希望があり、次回から勤務時間内の開催となった。

○第2回情報共有・地域啓発小部会

令和7年 9月18日（木）～16:00～ Zoom利用会議

出席者7名（小部会メンバー、妹背牛町・認知症地域支援推進員）

・協議・確認事項

(1) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について

- ・住民フォーラム in 妹背牛は、わかち愛もせうし劇団による介護劇に決定
- ・オムニバス形式で、劇中では認知症の方への良い対応についての内容が含まれている。
- ・劇前に妹背牛町のオレンジカフェの取り組み等の紹介について検討し後日報告予定
- ・開催場所の妹背牛町民会館は、駐車スペースが少なく数か所にわかれた駐車場となるため誘導係が必要。ライスパワー体操のDVD上映と販売はしない。(DVDの在庫が少ない)
- ・例年、妹背牛町で開催する介護劇では、事前申し込みはしていないため町民に混乱が生じる可能性が予測される。妹背牛町以外は事前申し込みの体制をとる。当日の受付方法と参加者人数の把握については次回の会議で検討課題とする。
- ・次回小部会は10月中旬に予定し役割分担等を確認予定

○第3回情報共有・地域啓発小部会（書面開催）

令和7年11月13日（木）16:00～ 妹背牛町

（小部会メンバー）当日欠席者があり、参加者が少なくなったため書面開催とした。

・協議・確認事項

(1) 在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムの開催について

- ・開催案内、新聞折込の対応や、当日の集合時間、会場設営など具体的な作業の最終確認をし、次回小部会は開催報告と評価ができ次第開催

○第4回情報共有・地域啓発小部会

令和8年 2月26日（木）～ 3月3日（火）きたそらりんく利用会議

3月 3日（火）16:00～ Zoom利用会議

出席者8名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 住民フォーラムの振り返り・評価について

- ・老若男女に伝わる内容が表現された演劇を通して認知症の理解と対応を学び、今後の生活をどのように迎えたいか考える機会となった。
- ・次年度は、輪番性で北竜町での開催が予定。次年度の活動方針をもとに検討していく。

(2) リーフレットの活用状況

- ・1市4町にリーフレットを配布し周知したがリーフレットを見て講師派遣・研修会としての活用はなかった。
 - ・リーフレットで講師派遣元となっている事業所で引継ぎがされてなかった事例があり、今後各部会が共通認識し活用できるようにしていく必要がある。
- などを協議した。

○北空知地域 ACP（人生会議）研修会開催

令和7年10月28日（火）18:00～19:30

※1部会と合同開催で同一内容のため省略

○在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 妹背牛

わかち愛もせうし劇団によるオムニバス介護劇 「ぼけぼけバンザイ」

令和7年11月23日（日）13:00～15:00 妹背牛町民会館

参加者194名（妹背牛町114名、以下アンケート回答から：深川市16名、秩父別町17名、北竜町1名、沼田町6名、その他17名）

(1) 妹背牛町の取り組み紹介

「妹背牛町における認知症施策の取り組み」

紹介者 認知症地域支援推進員 金子 智津子

(2) 介護劇「ぼけぼけバンザイ」

(3) 閉会・アンケート

- ・介護劇では、日々日常でみられる認知症の方々を取り巻く姿を演劇の中でわかりやすくとりいれられ、老若男女に伝わるように表現されていた。
- ・アンケート結果からも、難しい講演を聞くよりも演劇の方がわかりやすかったという意見も聞かれ、演劇を通して、高齢化社会に関する課題を理解することができた。
- ・日々介護と向き合う方からは、自己を見つめなおす機会となり、今後近い未来に認知症と向き合う年代からは、今後の事を考えた生活設計が必要であるという意見が聞かれ、演劇を通して今後の生活を考える機会となった。
- ・演劇の中では、現在の日本社会の課題が描かれていたが、その中でも演じる方々の熱心さ・ユーモアと笑いがあり、こころ温まる、癒しの要素も多く含まれていた。
- ・アンケートでは、今後も続けてほしい・他の地域でも開催してほしいとの意見も聞かれ、住民フォーラムの目的は達成できたと考える。
- ・今後、北竜町、秩父別町、沼田町、深川市と輪番性で開催を予定しているが、今後の開催方法については、小部会での検討が必要である。

○第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和7年 9月 4日(水) 16:00～ ZOOM 会議

出席7(市町地域包括支援センター担当者、事務局員)

・協議・確認事項

(1) 各事業項目別 実施件数(令和7年4月～8月)

(2) 令和7年度上半期進捗状況

- ・個別訪問、通所訪問、介護予防事業、地域ケア会議、スタッフ研修会について、実施状況や今後の対策について協議した。
- ・R6年9月以降から個別訪問後の提出物、訪問前打ち合わせ(担当者会議等)変更している。
- ・個別訪問のR7年10月以降は、事業対象者等への訪問について各市町で検討する。
- ・R8年度から当事業担当者の変更に向けて引き継ぎを実施中。各自院内業務量を調整しながら新規業務・対象者を担当する。

○第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和8年 3月25日(水) 16:00～ ZOOM 会議

出席者7名(市町地域包括支援センター担当者、事務局員)

・協議・確認事項

(1) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

- ・リハ職・町職員において人員不足傾向があり、地域ケア会議未実施やリハ事業(講話)依頼に影響があったことが挙げられた。リハ職に関しては次年度の担当を変更予定しておりスケジュール調整により対応できる場合もあるため事前相談をしていただくこととした。
- ・次年度に「地域リハ通所事業所向けパンフレット」を作成し、1市4町通所事業所へ配布し普及啓発を図ることとした。

○介護保険サービス事業所スタッフ向け研修会の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	0	
妹背牛町	1	グループホームべにばら妹背牛スタッフ研修会
秩父別町	1	グループホームべにばら秩父別スタッフ研修会
北竜町	3	グループホーム碧水スタッフ研修会、永楽園職員ケース検討会
沼田町	1	旭寿園スタッフ研修会
合計	6	

○住民向け講演会・研修会等の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	12	サロン花園、開西町お結びサロン、西町すまいるサロン、男塾、男塾OB会、くらしかる、西町男塾、深まる講座、健寿OB会、新光町サロン
妹背牛町	6	すまい・ル サロン、わかち愛もせうし、わかち愛もせうしサロン
秩父別町	7	脳活、JA北いぶき女性部
北竜町	4	あさがおクラブ（碧水、和）
沼田町	15	のぞみ会サロン、旭町サロン、緑町サロン、地域医療サロンあつたまーる、高齢者元気100倍教室、共生老人クラブ
合計	44	

3. 事業の進捗状況

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
 - ⇒ 各種事業の案内周知・報告の掲載など、ホームページの更新を1回（件）行った。
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
 - （ホームページを閲覧できない高齢者等への訴求力のある媒体の検討）
 - ⇒ 各会議体委員等に情報提供として関係団体の研修等について「きたそらりんく（バイタルリンク）」に掲載しているが、地域住民への提供や高齢者等へ周知については具体的検討には至らなかった。
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討
 - ⇒ 関係機関・団体にホームページとのリンクを依頼しているほか、具体的検討には至らなかった。

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催の企画と運営
 - （参加者や研修担当部会員負担の偏りを均等となるよう検討）
 - （意見交換型以外・ハイブリッド形式の研修も検討）
 - （連携が可能な場合は部会・小部会をまたいだ合同研修会の開催を検討する）
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ⇒ 10月に深川保健所が事務局として開催された北空知看護研修会を、Ⅰ部会における入退院支援研修会と合同開催しⅡ部会として開催協力を行った。今年度はケア・カフェの開催は見送った。
 - ⇒ 各種事業での利用がスムーズにできるよう Zoom ミーティングの有料版を継続利用し、研修会や各会議体会議において利用した。
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
 - ⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業を通じ、関係市町の介護予防事業や介護保険サービス事業所の職員研修に作業療法士を派遣した。また、市町要望を受け、令和4年度から言語聴覚士の派遣を開始している。
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整・充実（派遣場所・職種拡大）
 - ⇒ 市立病院の複数の作業療法士で市町担当を決め、派遣調整を行った。
 - ⇒ 深川市立病院で考案した介護予防体操「ライスパワー体操」の紹介・普及を図るため、深川市と共同して作成したDVDを配布し、市民の自主的な介護予防活動の促進に努めた。
 - DVDは高齢者が操作しやすいように、基本編、短縮編、上級編の3枚に分け、「短縮編・基本編」と「基本編・上級編」の2種類、2枚1組にしたセット版も作成している。
 - ⇒ 地域リハ事業は依頼件数が年々増加傾向で推移していたことから、院内のリハビリスタッフの人員配置等を勘案し今後も派遣事業を継続的に遂行するため、令和6年度から業務内容を見直し効率的な事業実施に努めた。

- ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
⇒ 妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町の介護事業所でスタッフ研修を実施した。
- ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討
⇒ これまでの事業の成果と課題等を共有するため、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進に努めた。

(3) 地域住民への普及啓発

①在宅医療や介護などについての講演会等の開催

- ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
⇒ 令和7年11月に妹背牛町で北空知地域住民フォーラムを開催した。わかち愛もせうし劇団によるオムニバス介護劇「ぼけぼけバンザイ」を実施し多くの住民参加と高評価を得た。
- ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
⇒ 「地域住民向け講演会・研修会のメニュー」を作成し配布・周知したが実際の利用にはつながらなかった。
⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、44カ所(件)で実施した。

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

- ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
⇒ 介護予防の住民啓発資料として、介護予防体操「ライスパワー体操」DVD(令和3年度増刷)、「住み慣れたまちで安心して暮らすために」(令和3年度増刷)、「困った時は地域包括支援センターへ」(令和3年度新規作成)を関係市町及び市立病院に配布し各種事業で活用している。
- ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待・成年後見制度など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施
⇒ 具体的な検討には至らなかった。

4. 部会構成員(令和7年4月～令和8年3月) 19名(選考中2名除く)

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	妹背牛町健康福祉課主幹	末 岡 崇	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	北竜町こども・くらし応援課課長補佐兼地域包括支援センター次長	大 井 敬 太	多職種連携研修小部会長
副小部会長	(旧北空知栄養士会会長)	R7.4脱退	多職種連携研修小部会
	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太 田 祥 予	情報共有・地域啓発小部会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会議長	児 島 俊 一	りふれ施設長(管理医師)
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	(選考中)	薬剤師会事務局で選考中
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	疋 田 健	訪問看護ステーション いしずえ深川
	深川保健所企画総務課主査(保健推進)	六 田 一 典	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地相談サービス係(保健師)	和 田 奈津美	
	深川市高齢者支援課相談サービス係(社会福祉士)	立 川 智 章	7月～長谷川 沙希
	妹背牛町健康福祉課主査	河 嶋 亜希子	
	北空知区域内介護事業所(秩父別町)	(選考中)	
	北空知区域内介護事業所(沼田町)	小 山 俊 朗	沼田町デイサービスセンター
	北竜町こども・くらし応援課健康推進係係長	田 中 望 美	
	沼田町保健福祉課主査	鈴 木 悠里江	

事務局員	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	
	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携室係長	尾 中 康 晴	

※部会の設置期間（令和5年度～7年度）

【多職種連携研修小部会】

大井（小部会長）、（欠員）（副小部会長）、大谷内、中澤、疋田、六田、長谷川、（秩父別町介護事業所：選考中）、小山、河嶋、尾中（9名）

運営協力員：坂本一樹（市立病院看護師）（1名）

【情報共有・地域啓発小部会】

末岡（小部会長）、太田（副小部会長）、児島、伊東、（薬剤師会：選考中）、北本、和田、田中、鈴木、赤松、立花（10名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

赤松（座長・事業担当）、野原（深川市）、渡邊（妹背牛町）、太田（秩父別町）、内田（北竜町）、鈴木（沼田町）（6名）

I 多職種連携研修・相談支援部会（新部会）

《令和8年度事業計画》

1. 令和8年度事業計画

主な取り組み

- ・入退院支援研修会
- ・北空知地域入退院調整ルール
- ・多職種合同研修（ケア・カフェ）
- ・ホームページ更新

2. 部会構成員（令和8年4月～令和9年3月）18名

深川市	妹背牛町（副部会長）	秩父別町（部会長）	北竜町	沼田町
保健所	深川市事業所	秩父別町事業所	北竜町事業所	沼田町事業所
看護職代表	ケアマネ連協	医師会	歯科医会	



選出

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	太 田 祥 予	
副部会長	妹背牛町健康福祉課主幹	末 岡 崇	
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北空知地域看護連携推進会議	疋 田 健	訪問看護ステーション いしずえ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	三 浦 由佳里	深川市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所
	深川保健所企画総務課主査（保健推進）	六 田 一 典	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	中 川 綾 香	サポート24 深川
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	林 大 樹	和敬園
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	東海林 愛 紘	北竜町役場
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	小 山 俊 朗	沼田町社会福祉協議会
	深川市高齢者支援課相談サービス係	高 原 彩 花	
	北竜町こども・くらし応援課高齢者支援係長	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課主幹	高 橋 直 幸	
事務局員	深川市立病院地域連携室副室長	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	山 口 千恵美	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	廣 瀬 詩 織	

※部会の設置期間（令和8年度～10年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
6 月 8 日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6 月 2 2 日	課長・正副部会長会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和8年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
7 月 1 3 日	第1回協議会議	部会の議案説明

（多職種連携研修・相談支援部会）

年月日	項 目	内 容
月 日	第1回部会	令和8年度事業計画及び運営体制の協議
月 日	第2回部会	令和8年度事業計画の協議
月 日	第3回部会	入退院支援研修会の企画ほか開催協議
月 日	第4回部会	研修内容協議
月 日		テーマ「未定」
月 日	第5回部会	研修会の振り返り・評価、アンケート結果とりまとめ
月 日	第6回部会	令和8年度事業のまとめと次年度の取組の協議

Ⅱ 在宅生活・情報共有・地域啓発部会（新部会）

《令和8年度事業計画》

1. 令和8年度事業計画

主な取り組み

- ・住民フォーラム開催
- ・住民啓発パンフレット
- ・ICT情報共有ツールの活用
- ・認知症施策（研修会）
- ・地域リハビリテーション活動支援事業

2. 部会構成員（令和8年4月～令和9年3月）18名

深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町（部会長）	沼田町（副部会長）
深川市事業所	妹背牛町事業所	秩父別町事業所	北竜町事業所	沼田町事業所
保健所	薬剤師会	消防署	住民支援団体	



選出

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町こども・くらし応援課課長補佐 兼地域包括支援センター次長	大 井 敬 太	
副部会長	沼田町保健福祉課主査	望 月 み さ	
委 員	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	深川地区消防組合深川消防署救急課 課長補佐	柴 田 和 宏	
	深川保健所企画総務課企画主幹	黒 瀧 仁 司	
	深川市介護者と共に歩む会副会長	花 房 恵 子	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	今 田 裕 之	居宅介護支援事業所 清祥園
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅介護支援事業所 りぶれ
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	原 藤 晴 美	グループホーム べにばら
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	堂 前 智 史	グループホーム碧水
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	大 江 清 和	沼田町養護老人ホーム 和風園
	深川市高齢者支援課相談サービス係	和 田 奈津美	
	妹背牛町健康福祉課主査	河 嶋 亜希子	
	秩父別町住民課地域包括支援係	松 原 舞 姫	
事務局員	深川市立病院地域連携室長	立 花 洋 子	
	深川市立病院地域連携室主幹	赤 松 充 敏	

	深川市立病院地域連携室副室長	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	前 川 凡 子	

※部会の設置期間（令和8年度～10年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

赤松（座長・事業担当）、野原（深川市）、渡邊（妹背牛町）、太田（秩父別町）、
内田（北竜町）、鈴木（沼田町）

（6名）

3. 年間スケジュール

年月日	項 目	内 容
6月 8日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月22日	課長・正副部会長会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和8年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
7月13日	第1回協議会議	部会の議案説明

（在宅生活・情報共有・地域啓発部会）

年月日	項 目	内 容
7月 日	第1回部会	令和8年度事業計画及び会議方法の協議 住民フォーラムの企画・開催内容・準備協議
月 日	第2回部会	住民フォーラム開催準備・打合せ
10月 3日	北空知地域住民フォーラム	北竜町で開催
月 日	第3回部会	住民フォーラムの振り返り・評価、アンケート結果とりまとめ
月 日		令和8年度事業のまとめと次年度の取組の協議
月 日	第4回部会	フォーラム等の振り返り・評価、アンケート結果とりまとめ

（地域リハビリテーション活動支援事業調整会議）

年月日	項 目	内 容
8月 日	第1回調整会議	今年度事業の中間評価と後半に向けての協議
2月 日	第2回調整会議	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

令和7度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,352,600	9,352,600	0	各市町負担金 深川市 4,031,439円 妹背牛町 1,397,979円 秩父別町 1,299,778円 北竜町 1,212,097円 沼田町 1,411,307円 計 9,352,600円
合 計	9,352,600	9,352,600	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,948,000	7,948,000	0	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,225,154円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1人区=7,948,000円
連絡車両維持費	-101,400	-101,396	4	年間車両レンタル料1台 34,000円/月×12カ月×1.1×1/3(車両利用割合)≒149,604円(ロッキー) R6リース予算264,000-R6実経費控除12,467≒△251,000
事業費	600,000	576,090	△ 23,910	北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議、プロジェクトチーム 医療介護相談・在宅生活支援部会 多職種連携・地域啓発部会 オンライン多職種合同研修会開催経費 159,775円 きたそらりんく導入運営経費 59,400円 ホームページ更新・管理経費 5,500円 住民フォーラム 73,225円 入退院支援・調整ルール 60,390円 認知症研修会 104,500円 地域住民向け研修会等メニュー(講師派遣リスト)作成委託料 113,300円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。
事務費	460,000	431,143	△ 28,857	コピー機賃借及び使用料 312,986円 介護新聞購読料 19,800円 消耗品・消耗備品 38,236円 郵送料 20,076円 連絡車両燃料費・保険料 40,045円 事務費計 431,143円
一般管理費	446,000	498,763	52,763	(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)8,853,837円×10%=885,384円>498,763円【5.63%】 当初予算5%(参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	0	0	0	包括的支援事業非課税告示(消費税法施行令第14条の3第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する資産の譲渡等の一部を改正する件(平成27年厚生労働省告示第232号))により非課税
合 計	9,352,600	9,352,600	0	

令和7年度 地域リハビリテーション活動支援事業決算(案)

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,361,000	9,361,000	0	各市町負担金 深川市 5,332,774円 妹背牛町 1,115,457円 秩父別町 958,192円 北竜町 817,777円 沼田町 1,136,800円 計 9,361,000円
雑入	0	3,200	3,200	ライスパワー体操DVD販売収入(200円×16セット=3,200円)
合 計	9,361,000	9,364,200	3,200	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,443,000	7,443,000	0	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,268,963円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区≒7,443,000円
連絡車両維持費	311,000	258,830	△ 52,170	年間車両レンタル料1台 29,000円/月×5カ月×1.1(4~8月) 12,900円/月×7カ月×1.1(9~3月)258,830円(イグニス)
事務費	350,000	290,415	△ 59,585	きたそらりんく導入運営経費 19,800円 コピー機賃借及び使用料 39,123円 消耗品・消耗備品 147,152円 連絡車両燃料費・保険料 84,340円 事務費計 290,415円 ※事務室やパソコン等の備品等使用料は含んでいません。
一般管理費	406,000	520,664	114,664	(人件費+連絡車両維持費+事務費)7,992,245円×10%=799,225円>520,664円【6.51%】 当初予算5%(参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	851,000	851,291	291	消費税(10%)8,512,909円×10%=851,291円
合 計	9,361,000	9,364,200	3,200	

令和8年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,352,600	10,868,000	1,515,400	各市町負担金 深川市 4,680,304円 妹背牛町 1,622,593円 秩父別町 1,513,912円 北竜町 1,409,851円 沼田町 1,641,340円 計 10,868,000円
合 計	9,352,600	10,868,000	1,515,400	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,948,000	9,140,000	1,192,000	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 8,308,785円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1人区=9,139,664円
連絡車両維持費	-101,400	150,000	251,400	年間車両レンタル料1台 34,000円/月×12カ月×1.1×1/3(車両利用割合)=149,600円
事業費	600,000	600,000	0	北空知地域医療介護確保推進協議会 協議会各会議体の開催経費、事業案内経費 運営会議 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など Ⅰ医療介護相談・在宅生活支援部会 パンフレット作成経費 Ⅱ多職種連携・地域啓発部会 ホームページ作成・更新・管理経費など
事務費	460,000	460,000	0	事務費(固定)460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	446,000	518,000	72,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)10,350,000円×5%=517,500円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	0	0	0	包括的支援事業非課税告示(消費税法施行令第14条の3第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する資産の譲渡等の一部を改正する件(平成27年厚生労働省告示第232号))により非課税
合 計	9,352,600	10,868,000	1,515,400	

令和8年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,361,000	10,037,500	676,500	各市町負担金 深川市 5,718,160円 妹背牛町 1,196,069円 秩父別町 1,027,439円 北竜町 876,877円 沼田町 1,218,955円 計 10,037,500円
合 計	9,361,000	10,037,500	676,500	

支出

項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,443,000	8,169,000	726,000	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 9,075,797円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区=8,168,217円
連絡車両維持費	311,000	171,000	△ 140,000	年間車両レンタル料+タイヤ経費 12,900×1.1×12ヶ月=170,280円/1台(イグニス)
事務費	350,000	350,000	0	事務費(定額)350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	406,000	435,000	29,000	当初予算(人件費+連絡車両維持費+事業費+事務費)8,690,000円×5%=434,500円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	851,000	912,500	61,500	消費税(10%)9,125,000円×10%=912,500円
合 計	9,361,000	10,037,500	676,500	

令和7年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	年度	会議・行事等	場所	種別	実施形態
R07.04.15		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.04.17		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.04.28		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.04.28	R07.05.01	R07	第1回正副座長・部会長等会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.05.01		R07	第1回正副座長・部会長等会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.05.20		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.05.21		R07	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R07.05.22		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.05.26		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.05.26	R07.06.02	R07	第1回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.05.27	R07.06.02	R07	第1回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.05.27	R07.06.02	R07	第1回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.05.27	R07.06.03	R07	第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.05.27	R07.06.03	R07	第1回 医療介護相談支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.05.27	R07.06.03	R07	第1回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.06.02		R07	第1回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.02		R07	第1回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.02		R07	第1回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.02	R07.06.05	R07	第1回運営会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.06.03		R07	第1回 医療介護相談・在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.03		R07	第1回 医療介護相談支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.03		R07	第1回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.05		R07	第1回運営会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.06.10		R07	第1回 在宅生活支援小部会事前打合せ	深川市	会議	現地
R07.06.12		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.06.17		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.06.25		R07	北空知成年後見相談センター運営協議会	深川市	会議	現地
R07.06.26		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.06.26	R07.06.30	R07	第2回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.06.30		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.06.30		R07	第2回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.07.11		R07	北空知地域医療介護確保推進協議会 第1回会議	深川市	会議	現地
R07.07.15		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.07.16		R07	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R07.07.22	R07.07.28	R07	第3回 在宅生活支援小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.07.24		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.07.28		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.07.29		R07	第3回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.08.19		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.08.21		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.08.25		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.08.25	R07.08.29	R07	第2回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.08.29		R07	第2回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.09.16		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.09.17		R07	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R07.09.18		R07	第2回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.09.25		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.09.29		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.10.09		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.10.16		R07	第4回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.10.21		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地

令和7年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

年月日	年月日(終期)	年度	会議・行事等	場所	種別	実施形態
R07.10.27		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R07.10.27	R07.10.29	R07	第2回運営会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R07.10.28		R07	北空知地域ACP(人生会議)研修会(64名)	深川市・Web	研修会	現地・Web
R07.10.29		R07	第2回運営会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R07.10.29		R07	第1回地域医療・介護担当課長等会議	Web上	会議	WEB
R07.10.31		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.11.13		R07	第3回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)			
R07.11.18		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.11.19		R07	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R07.11.20		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.11.23		R07	在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin妹背牛(194名)	妹背牛町	研修会	現地
R07.11.25		R07	第2回 在宅生活支援小部会打合せ	深川市	会議	現地
R07.12.12		R07	認知症スキルアップ研修会(40名)	深川市	研修会	現地
R07.12.16		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R07.12.18		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R07.12.22		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R08.01.15		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R08.01.20		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R08.01.21		R07	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R08.01.26		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R08.01.26	R08.01.28	R07	第3回運営会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R08.01.28		R07	第3回運営会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.01.29		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R08.02.03	R08.02.10	R07	第3回 多職種連携研修小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R08.02.10		R07	第3回 多職種連携研修小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.02.10		R07	第5回 在宅生活支援小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.02.12		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R08.02.16		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地
R08.02.17		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R08.02.17		R07	第2回 医療介護相談・在宅生活支援部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.02.19		R07	第1回 部会長等選定会議	Web上	会議	WEB
R08.02.19		R07	北空知成年後見相談センター運営協議会	深川市	会議	現地
R08.02.26		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R08.02.26	R08.03.04	R07	第4回 情報共有・地域啓発小部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R08.03.04		R07	第4回 情報共有・地域啓発小部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.03.09	R08.03.16	R07	第2回 多職種連携・地域啓発部会(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R08.03.12		R07	第2回 部会長等選定会議	深川市	会議	現地
R08.03.16		R07	第2回 多職種連携・地域啓発部会(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.03.17		R07	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町	会議	現地
R08.03.18		R07	秩父別町地域ケア会議	秩父別町	会議	現地
R08.03.25	R08.03.26	R07	第4回運営会議(きたそらりんく)	Web上	会議	WEB
R08.03.26		R07	深川市地域ケア会議	深川市	会議	現地
R08.03.26		R07	第4回運営会議(ZOOM)	Web上	会議	WEB
R08.03.30		R07	北竜町地域ケア会議	北竜町	会議	現地